

No.55

そよかぜ会報

NPO法人メンタルサポート野田そよかぜ 理事長 齊藤 登美生
事務所 野田市目吹2578-4 TEL: 04-712553955
HP: <http://nodasoyokaze.jimdo> E-mail: tsubasa@road.ocn.ne.jp

平成28年10月20日発行

法人「野田そよかぜ」の近況ご報告

理事長 齊藤 登美生

酷暑が続いた日々も、ようやく通り過ぎホツとし、果物の美味しい季節になりましたが、皆様方におかれましてはご清祥の事と拝察申し上げます。

メンバーさん二十五名、私と黒澤相談役を含めスタッフ

の準備・進行等を行って、

果物の美味しい季節になり

フ十五名が参加し、「江戸

快適で楽しいバスハイクに配慮しました。江戸東京

ましたが、皆様方におかれ

東京博物館」と「上野

博物館では、庶民の長屋の狭さに比べて、武士の家屋

ましてはご清祥の事と

動物園」にバスハイクをし

と敷地の大きさや、昭和二十年の東京大空襲のすさまじい情景に驚いていました。

当法人の利用者・職員・世話人等関係者も、それぞれ

ハイクは、施設長兼事務

局長とサービスマネージャーの二人の取りまとめのもと、堀口さんが、計画全般をし、そして、下川さん他スタッフ

一生懸命に活動していま

フ(すまいるを含め)全員でグ

ループ分けや、車内ゲーム

す。

ループ分けや、車内ゲーム

見入り大きさに感嘆し、ユツクリした動作に心を癒

九月二十八日(水)には、「つばさ」・「すまいる」の

ループ分けや、車内ゲーム

見入り大きさに感嘆し、ユツクリした動作に心を癒

「つばさ」・「すまいる」の

ループ分けや、車内ゲーム

見入り大きさに感嘆し、ユツクリした動作に心を癒

されました。特にパンダ

二頭が愛くるしい顔をして

皆を歓迎してくれ、これだ

けでも今日来た甲斐があつ

た、というメンバーさん達

の歓声が上がりました。ま

た、足に不安のあるメンバ

ーさんが、用意した車椅子

での見学は、スタッフの皆

さんの協力もありました

が大変良かったと思ってい

ます。

なお、次回のバスハイク

は、二十九年三月十日(金)

に行く予定で、見学先は

未定ですが、また、楽しい

企画を練ってくれるものと

期待しています。

十月八日(土)には、恒例

の「第十四回 そよかぜ

(施設)祭」を行いました。

「つばさ」および「すま

いる」のメンバーさん十九名

私を含めスタッフ十二名

が参加し、賑やかなお祭と

なりました。アマチュアバ

ンド五名により編成された

「サンコン」のコンサート

に耳を傾け、合唱し、楽し

い一時を過ごしました。

美味しい昼食後は、また、

グループ対抗のゲーム等を

楽しみメンバーさん達が

交流を深めました。

以上、近況を報告致しま

すとともに、今後とも

御支援を賜りますようお願い

申し上げます。



消防(避難・消火)訓練

当法人では、つばさ・す

まいる共に毎年、春(二月)・

秋(九月)年二回の消防

訓練を行っています。

今秋は、九月十四日(水)

つばさ、九月十六日(金)す

まいるで、それぞれ実施し

ました。年一回は何れかが、

消防署とタイアップして

の訓練をしています。今般

は、つばさが消防署と合同

で行うこととなり当日は、

メンバーさん十八名・スタ

ッフ七名・消防士四名、合

計二十九名と大型消防車

が参加して行いました。

つばさ事業所(食堂ガス

レンジのある付近)から

出火し燃え広がりそうだと

の想定のもと、作業所から

のメンバーさんの避難を

優先的に、スタッフ一同が

連携し、すばやく避難する

訓練をしました。全員が

避難(敷地入口付近)するま

で3分位でできました。そ

の後、点呼により当日

出席者の確認(全員無事)

等をし、避難訓練は終了

しました。次に、消火訓練に

入り、消防士から消火器の

使用方法を教わり、また、火元

確認・火事であることを回

りに大声で知らせる等の

消火要領を聞き、早速、メ

ンバーさんに実地訓練をし

てもらいました。次々交代

し多くのメンバーさんやス

タッフが参加しました。

一度でも経験しておくこ

とは、もしもの時に必ず

役立つものと思います。そ

の後は、消防車を統率の

消防士から説明を受け見学

しました。消防車に積まれ

ているホースの長さは二百

Mあるとか、消防車に積ま

れている水は、一般家庭の

お風呂に例えれば二十杯分

(二千リットル)だとか、ほ

か消火のための七つ道具

(三十二種類程)また、昼の

火事の場合だけでなく夜の

火事の場合にも適応すべく

ライト(照明)等も用意され

ており、万全を期していま

した。なお、消防車は火事

に限らず、事故等で救

急車が出動する時は、

同時に出勤するなど大変
忙しい使命を託されてい
るようです。

メンバーさんもスタッフ

も本当にいい勉強となり

ました。最後に参加者皆で

消防車の前で記念写真を

撮り、訓練を終えました。

皆さんご協力ありがとうございました。

ございました。

(施設長 鳥羽)



あき 秋のバスハイク

今年度の秋のバスハイクが九月二十八日(水)に実施され、江戸東京博物館、上野動物園に行ってきました。当日は、天候に若干の心配はありましたが、概ね良好な天気でした。つばさすまいるのメンバーさ

ん達によるクイズ等で楽しみました。江戸東京博物館は、見所が多く、お江戸日本橋の大きさや江戸時代の庶民の暮らしが分かり、大変勉強になりました。当時の世界の都市と比較しても江戸は人口100万人と多く大都市であったこと、非常に清潔な街であったこと、庶民が助け合いの精神が高かったこと等、歴史で学んではいりましたが、その一端を垣間見た感がありました。その後、浅草の浅草寺近くのゴロゴロ会館(雷おこしの本舗)でお昼ご飯を頂きました。大変おいしく皆さんの評判も良かった

ようです。昼食後は、同店で、名物の雷おこしのお土産を沢山試食しながら買いました。一休み後、上野動物園に向かいました。途中のバスの中、堀口さんから上野動物園の珍獣(三種)パンダ、コビトカバ(小型カバ)、オカピ(馬とシマウマの混合)と意外と知られていない五重塔などの見所の説明があり、参考にまりました。早速、皆で可愛いパンダを見て、その後、モノレールに乗り三

大変なことから、足に不安のある一部のメンバーさんは車椅子を用意し、スタッフがサポートする態勢を取りました。そのようなことから、皆が楽しめたと思います。帰りのバスは、疲れ

つばさメンバー
○バスハイクで、江戸東京博物館と上野動物園に行つた。結構よかったです。一番よかつたのが、動物園でペンギンとパンダを見られたことでした。楽しかったです。
(瀬端 光弘)
○28日のバスハイクでは、スタッフに車いすを押してもらい、転ばずにして、江戸東京博物館、上野動物園を楽しく見学できた。大変良かった。スタッフの皆さんに感謝。
(平川 正)
○全体的には楽しめました。写真を撮ってくれるのは、うれしいサービスです。今回2つの展覧と言うか

(施設長 鳥羽)

催しで、江戸東京博物館

には、前にも行ったことのあるけれど、常設展示のところは、少し変わっているなど思いました。上野動物園は、とても楽しかったけれど動物が後を向いていたのが、少しがっかりでした。シヨップでもつと買えばよかったかなと後悔しています。記念品として。

(松戸 亮)

○しばらくぶりの団体の外出だったので楽しかったです。無事故で帰って来られてよかったです。その日の夜は、よく眠れました。また、機会があれば参加したいです。(古谷 広宣)
○動物園では、エミューウのたまごの大きさに再度お

どろいた。(寺澤 茂盛)

○江戸東京博物館のスケールの大きさにびっくりした。25年ぶりの上野動物園では、モノレールに乗りました。なつかしい気持ちになりました。とても楽しい一日でした。次のバスハイクが楽しみです。

(伊藤 真二)

○江戸東京博物館は江戸時代の昔から近代までの事がある程度分かったので良かった。ご飯がおいしかった。動物園では、パンダがかわいくて良かった。(齊藤 香)
○上野動物園で、ジャイアントパンダと北極クマを間近でみられてよかったです。(塩屋 晴男)



○がかわいかったです。(川辺 章弘)

○トラの森・ゴリラの森が、ムシ暑かったが楽しかった。○スタッフの皆さんに車イスを押して頂きありがとうございました。江野東京博物館では、江戸から昭和・平成の時代の歴史がわかり勉強になりました。また、上野動物園では、ハシビロコウが面白かったです。

(横山 秀勝)

○9月の終りに江戸東京博物館と上野動物園に行くことができました。博物館はもつと時間が欲しいと思っうくらい、見所があつて思つていた以上に楽しい場所

でした。あと2時間は見学して良かったです。(江野末期から明治初期の展示が少なかったのが残念)、上野動物園は久しぶりでした。

ペンギンとゴリラが見られたので満足でした。ほんの少し雨に降られてしまいました。したが楽しい一日を過ごすことができました。

(とめつち)

○江戸東京博物館に行き思ったより楽しく昔に戻った気分になりました。上野動物園では、パンダ・ゴリラ・サル・ゾウ等が見られて、苦手な臭いも大丈夫で楽しく過しました。(楽斗)
○バスハイクの参加は二回目、だいぶ団体での

行動も馴れることが出来ました。物心ついてから初めて行った上野動物園、そこで、赤ちゃんがお腹にいるお母さん象を見ました。今までは、人混みの中では、写真を撮るのが苦手でしたが、今回は自分のペースで周囲の様子を見ながら展示物や動物の写真を撮ることが出来ました。

(ミニミズク)



そよかぜ（施設）祭

しせつ さい

恒例のそよかぜ（施設）祭が10月8日（土）につばさ内で開催されました。そよかぜ（施設）祭は、施設ができた10月に記念日として

お祝いする日です。毎年演奏会を中心に、クイズやゲーム等によりメンバーさん、スタッフ、ゲストの皆さんとの交流を深める催しを実施してきました。

今年度は、残念ながらゲストの参加はありませんでしたが、メンバー（すまいる含め）16名、スタッフ（理事長含め）11名、都合27名でお祝いしました。

演奏は、野田公民館（樺のホール）が主催するアマ

チュアバンドフェスティバルに毎年参加している「サンコン」というバンドに來てもらい、歌と演奏をお願いしました。

はじめに、齊藤理事長のご挨拶、引き続き鳥羽施設長による朝の一言「知って

いるようで知らない話」として、東武野田線（アーバンパークライン）の歴史と特徴についての話がありました。その後、演奏会に入り「サンコン」の皆さんにお願ひしました。バンドメンバーの紹介等があり松田聖子の赤いスイートピーや松任谷由美、中島みゆきの代表曲各2曲、童謡

2曲計7曲の演奏をし

て頂きました。「サンコン」の真心のこもった一所懸命さが伝わってきて大変良かったと思ひました。アンコールでは、皆が歌えるようにと、いつもつばさのメンバーが歌っている「36日の紙飛行機」を選んでくれ、皆で合唱する事ができました。

その後、相談・すまいるの堀口、高橋、長島さんによるクイズで楽しみました。絵のコピー機というもので、グループ単位のゲームです。グループ内で協力して、廊下にある絵を見に行き口で伝達し、他の人達が書くというかなり高度な遊びでした。コーヒー作り等でゲ

ームに参加できなかった

事務のWさんに審査をお願いし、結果、チーム鳥羽が1位、これには、「サンコン」のメンバーも参加してくれ2位に入りました。昼食は、お弁当を用意、スタッフの皆さんが作ってくれたトン汁やコーヒーもおいしく頂きました。午後

も、堀口さんのリードでパスタと糸とテープを使って、より高い塔を作り、その高さを競うゲームを行いました。やはりグループ内の協力が必要でした。これも大変難しく塔が出来たのは、3チームだけでした。結果、チーム千久田が1位、チーム谷口が2位でした。外は土砂降りの雨でしたが、

内は演奏やゲームにと、笑い声が絶えず楽しい一日となりました。皆さんご苦労様でした。



そよかぜ祭の感想

つばさメンバー

○左足と腰が痛かったの
で楽しめなかったです。

残念。スパゲティのタワー
作りが面白かった。

(横山 秀勝)

○演奏に合わせて好きな歌
が歌えて大変良かった。

(齊藤 香)

○音楽が楽しかったです。
ゲームも楽しかったです。
何より歌がよかったです。

(村崎 広行)

○そよかぜ祭は歌を歌った
り、ゲームをしたりで本当
に楽しかったです。

(瀬端 光弘)

○ゲームに負けて悔し
かったです。来年は勝ちに行
きます(勝利宣言)。リベンジ

を果たすぞ!(塩屋 晴男)

○ゲームが楽しかったです。
バンドの歌が良かったです。

(波形 崇志)

○歌の演奏とゲームで楽し
かったです。(野口 信男)

○バンド演奏やゲームや
食事どれも良く楽しかった。

(田中 正夫)

すまいるのメンバー

○施設祭で皆さんと交流
できて楽しかったです。生
演奏と歌が聞けて、とても

いやされました。ゲームが
早く終わってしまい残念でし
た。

(高橋 寿和)

○歌が唄えて楽しかった。

お弁当もおいしかったです。
ゲームもできて楽しかった

が勝ちたかったな。また、
ゲームがしたいな。

(なつちゃん)

○マカロニ?ゲームが難
しかったです。賞品がもらえな
くて残念でした。今度は、
すまいるがやるぞ!、リベ
ンジです。

(忍)



相談支援センターより

相談支援専門員の堀口です。
相談支援専門員の仕事を始
めてから、3年の月日が経
とうとしております。

つばさ、そよかぜハウス、

すまいるの利用者の方、

在宅や施設で生活をされて

いるたくさんの方々との出

逢いがあります。病院や

施設を訪問する中では、

現場で仕事をする方々との

出逢いもあります。

自分と人とを結びつけるも

のは、会話であり、「情報」

という文章の中でのコミ

ュニケーションです。コミ

ュニケーションは、考えや

思いを相手に伝える力と

なります。会話によって考

えさせられ、勉強すること

の多い日々です。言葉によ

つて、元気をいただくこと

があります。言葉には、た

くさんの表現があります

が、一番よく使う言葉は、

「ありがとうございます」

です。ありがとうございます、とて

も優しい言葉ですね。

これからも、人と人とのつ

ながり、コミュニケーション

ンを大切に考えながら、

日々、生活、仕事をしてい

ければと感じます。これか

らも、宜しく願います。

(相談支援センター長

堀口 美千代)



実習生お礼の手紙

東京福祉大学

石川 彩香

拝啓、文月の候、皆様お変わりなくお元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

この度は、私の実習に際しまして、ご多忙にあるにも関わらず、ご指導いただきまして誠にありがとうございました。

実習では、利用者様とのコミュニケーションを多く取る機会をいただき、技術の向上を図ることが出来ました。また、施設外への見学・体験を多くさせていただき、他機関との連携に

ついて学ぶことが出来ました。

人生の先輩である利用者皆様や職員の方々、親しく接して頂いた感謝の気持ちをお忘れずに、これからも社会福祉を学んでいきたいと考えております。

どうぞ、職員、利用者皆様方によりしくお伝えください。



高崎福祉医療カレッジ
高橋 法子

拝啓、暑さ厳しき折ですが、皆様お変わりなくご活躍のことと存じます。

さて、この度の実習に際しましては、グループホームC棟の開設等により

ご多忙の折にも関わらず、お受け入れ頂きましたことを心より感謝申し上げます。

実習中には、就労に向けて次のステップへの一歩を踏み出す利用者の方や病院から退院と同時にグループホームに入居され、つばさへの通所を開始される利用者の方と接する機会もあり、「入院から地域

社会へ」という支援の実践の現場を目の当たりにすることとなり、日々の作業を通じての利用者やスタッフの皆様との交流と併せ、大変貴重な体験・学習をさせて頂く機会となりました。

貴施設での実習で習得させて頂きました支援の在り方を忘れることなく、利用者の方々の目線に立つた支援を行うことの出来る精神保健福祉士を目指し、今後の更なる学習に励む所存です。

実習中にお世話になりましたスタッフの皆様、宜しくお伝えくださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら、貴施設の

益々のご発展と利用者皆様、スタッフの方々をはじめ関係者の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

敬具



聖徳大学

大井 彩華

拝啓 残暑の候、皆様には
ますますご清祥のこととお
喜び申し上げます。

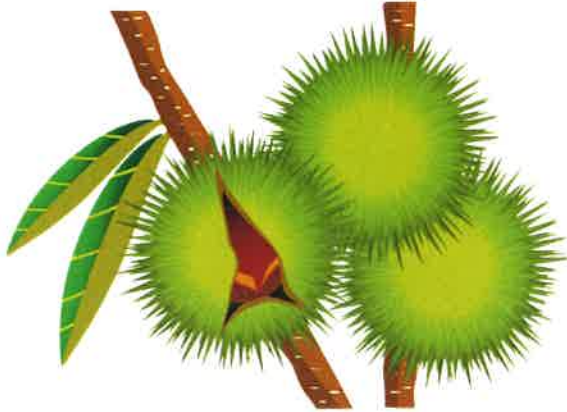
このたびは、十四日間に
わたり、実習をさせて頂
きましてありがとうございます
ました。

つばさや他施設で実習
させて頂き、利用者の方と
の係わりに加え、そこでの
職員の方々の姿を通し、
多くを学ぶ事ができました。
また、同時に、自分に不足し
ているものにも気付き、新
たな課題や目標を見出す
ことができました。
貴施設における実習を
通し得たものを、今後の

学習、そして働く上で活
かして行きたいと思ひます。

ご多忙中にも係わらず、
谷口さんはじめ職員の
皆様に丁寧なご指導を
頂きました。
頂き誠にありがとうございます

末筆ながら、皆様方の
健康と貴施設の更なる
発展を心よりお祈り申し
上げます。
敬具



雑記

自立という金メダルを目指して(私たちの金メダル)

今年 8 月ブラジルのリオ
デジャネイロでオリンピック
クが行われました。四年に
一度、超人たちが努力した
成果を発揮するところであ
り、それだけに一つ一つ
素晴らしい感動を私たち
に与えてくれました。そん
な中で改めて強烈なイン
パクトを残してくれたのが、
女子レスリング金メダルの
伊調・登坂・土性の 3 選手
と男子体操個人総合の金メ
ダル内村選手でした。
各選手に共通しているこ
とは、絶対絶命のピンチに
遭いながらも、最後の最後

に逆転勝利を収めたこと
で皆も記憶に新しいこと
と思ひます。

仕事を通し、私たちスタ
ッフ、そしてメンバー、そ
れぞれの目標(自立に向
け)を立て日々努力してい
くことで、それぞれの目標

(私たちの金メダル)に近
づくのではないだろうか。
そのためには、あきらめな
い。日々の努力が大切であ
ることを教えてくれたオリ
ンピックでした。

私たちがスタッフも
支援員として、能力を磨か
なければなりません。研修
に参加し、感じたことは、
障がいを理解すること、
不安を与えないこと、解決
に導けるようアンテナを

張ること、本人の話を聞く
ことから始まり、話のでき
る環境づくりでした。

今後も、色々なことを学
び、自立支援においては常
に、それぞれのニーズに合
った支援をして行きたいと
思ひます。

(GHサービス管理者
つばさ支援員

下川 典子)

